

平成 30 年 1 月 12 日
放射線取扱主任者
波戸 芳仁

陽電子ダンピングリング (DR) の使用開始について

記

放射線取扱主任者による DR 新設に係る機構内検査を平成 29 年 10 月 4 日(インターロック)、平成 29 年 12 月 6 日(区域設定、標識等)に実施し、DR に対する安全が確認されました。DR に係る放射線取扱施設変更申請について、平成 30 年 1 月 5 日付で原子力規制委員会より承認されました。平成 30 年 1 月 12 日より、下記変更による運用が開始されますのでお知らせします。

1. 場所：DR トンネル、DR 電源棟、DR 機械棟
2. 当該主幹等：赤井和憲、小磯晴代
3. 放射線担当者：三増俊広
4. 放射線区域責任者：大山隆弘
5. 同副責任者：岩瀬 広
6. 同業務担当者：穂積憲一
7. 変更内容：
 - (1) DR (最大エネルギー：1.2 GeV, 最大出力：21.23 GeV・mA、最大ビーム強度：17.7 mA、最大蓄積粒子数： 5.0×10^{10} 個) を新設する。
 - (2) DR の新設に伴い、DR トンネルを放射線管理区域・発生装置室に設定する。また、DR 電源棟の 1 階の一部と地下部を放射線管理区域に設定する(場所は下記参照)。

以上

配布先 機構長

(管理局) 施設部長、施設企画課長、整備管理課長、安全衛生推進室

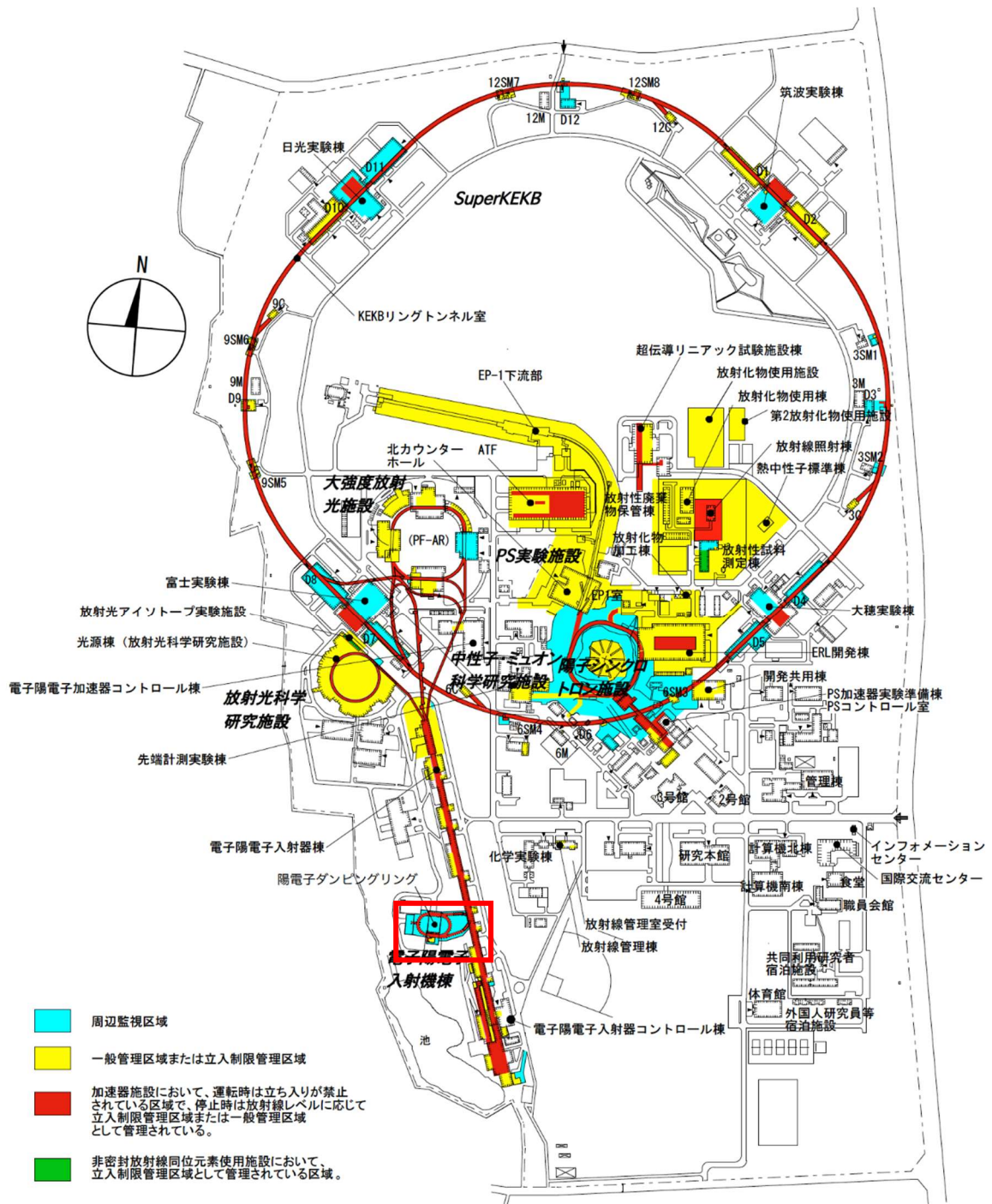
(素核研) 所長、副所長、事務室

(物構研) 所長、副所長、事務室

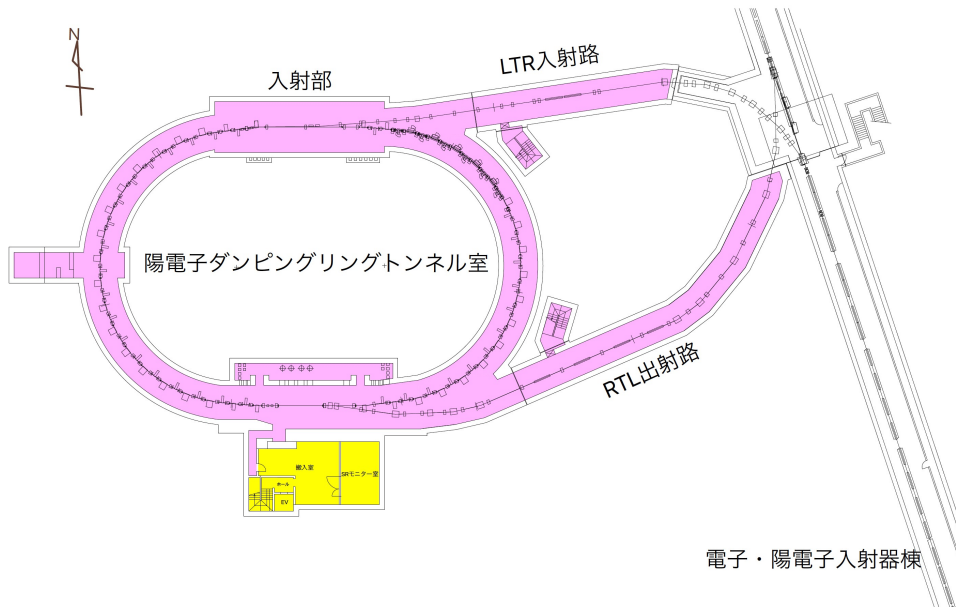
(加速器) 施設長、各主幹、事務室

(共通) 施設長、各センター長、事務室、TNS

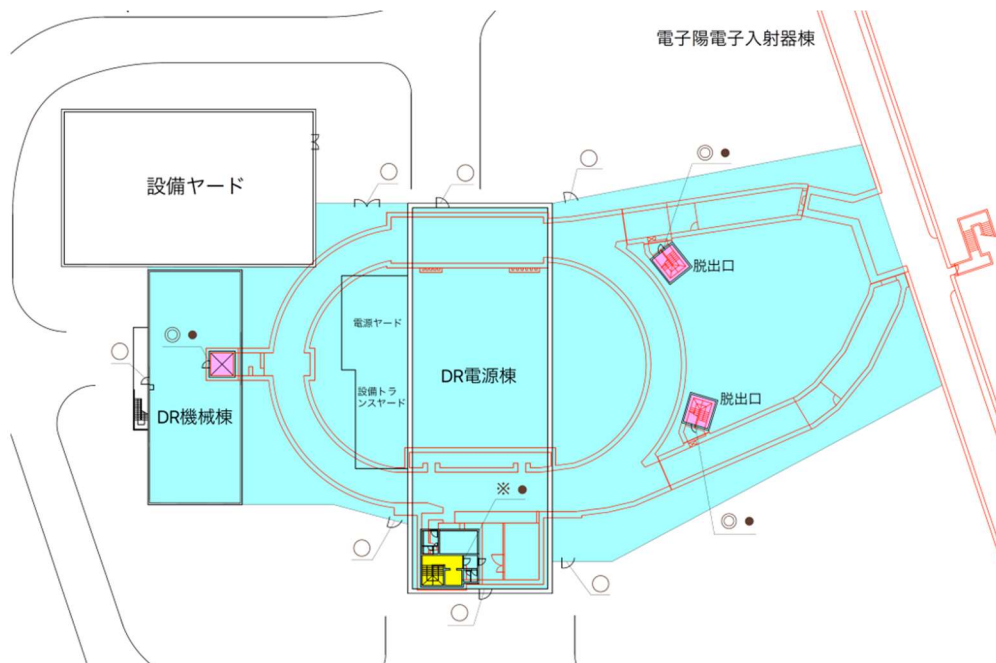
(担当者) 当該発生装置管理責任者、同作業責任者、各区域放射線担当者、管理室員



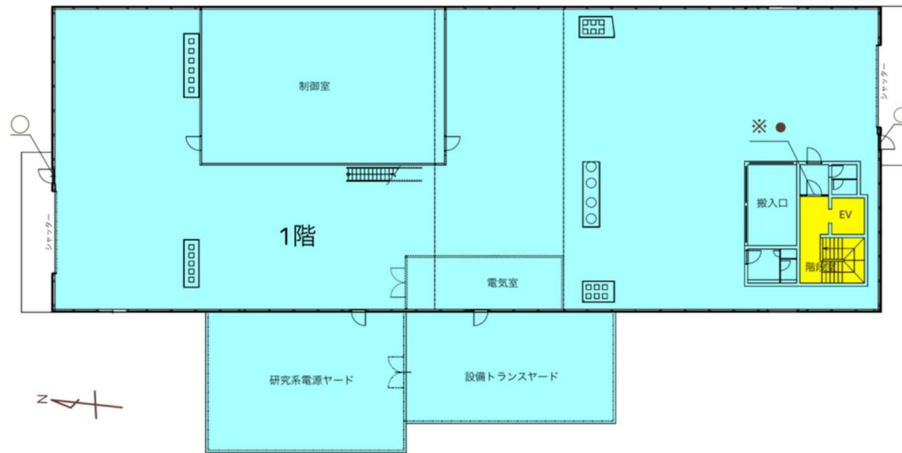
DRの機構内における位置 (赤枠内)



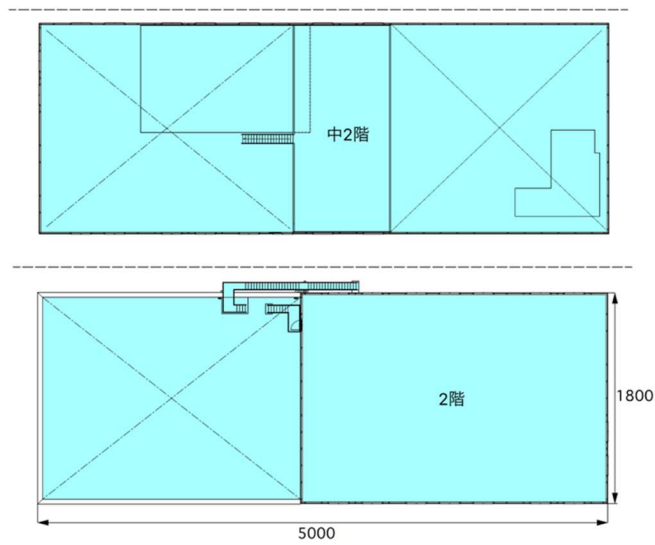
DR トンネル室の区域設定図：発生装置室（桃色）として管理



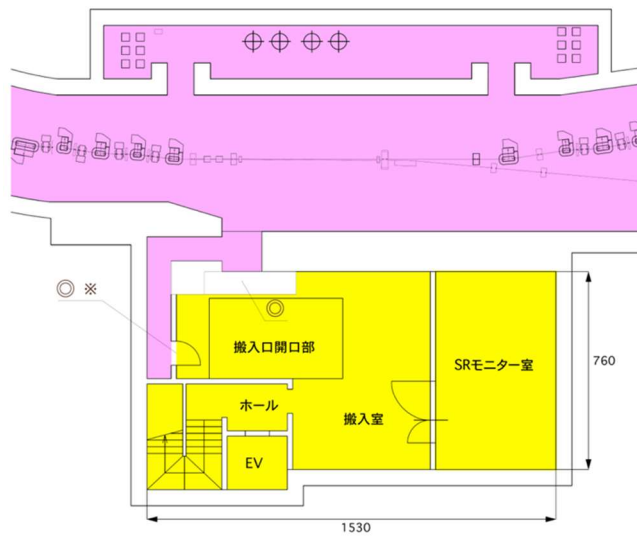
DR 地上部の区域設定図：外周フェンス内を周辺監視区域（水色）として管理



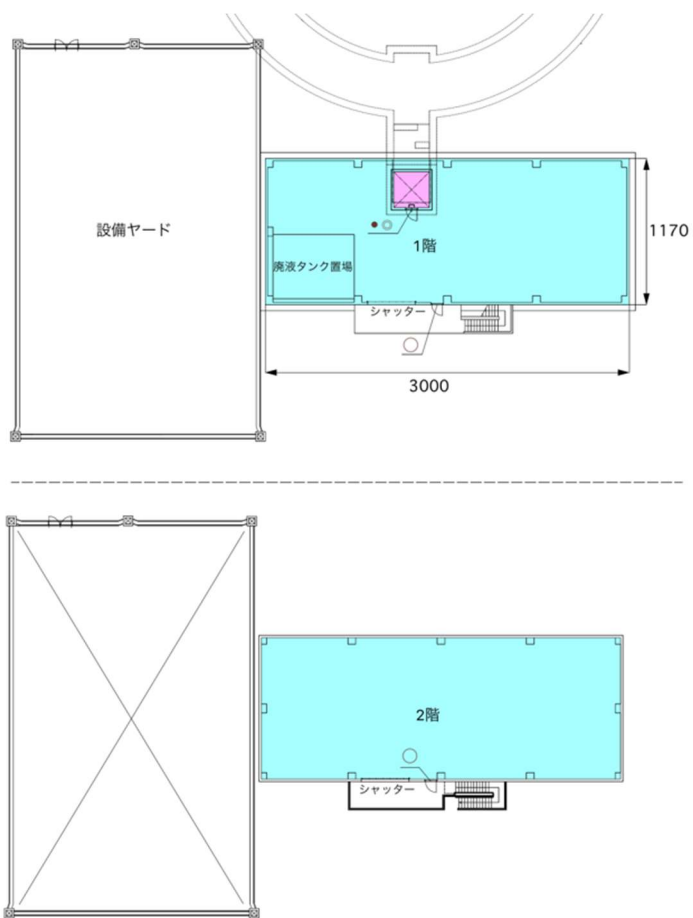
DR 電源棟一階の区域設定図：一部を管理区域（黄色）として、その他を周辺監視区域（水色）として管理



DR 電源棟中二階、二階の区域設定図：全て周辺監視区域（水色）として管理



DR 電源棟地下一階の区域設定図：全て管理区域（黄色）として管理



DR 機械棟の区域設定図：全て周辺監視区域（水色）として管理